平成23年11月7日

各　　位

会 社 名　青山商事株式会社
代表者名　代表取締役社長 兼執行役員社長　青山　理
（コード番号 8219　東証・大証 第一部）
問合せ先　専務取締役 兼専務執行役員　宮武真人
（TEL　084-920-0050）

業績予想の修正等に関するお知らせ

平成23年5月13日に公表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1．個別業績予想数値の修正

平成24年3月期　第2四半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）（平成23年5月13日）	70,500	1,900	2,900	1,300	20円45銭
今回修正予想（B）	70,126	2,478	1,647	456	7円18銭
増減額（B－A）	△373	578	△1,252	△843	―
増減率（%）	△0.5	30.4	△43.2	△64.9	―
（ご参考）前期第2四半期実績（平成23年3月期第2四半期）	69,345	2,137	△603	△1,487	△23円40銭

平成24年3月期　通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）（平成23年5月13日）	167,700	13,400	15,300	7,300	114円81銭
今回修正予想（B）	167,700	13,600	13,500	6,100	95円94銭
増減額（B－A）	0	200	△1,800	△1,200	―
増減率（%）	0.0	1.5	△11.8	△16.4	―
（ご参考）前期実績（平成23年3月期）	162,300	12,419	10,176	2,745	43円18銭

２．連結業績予想数値の修正

平成 24 年 3 月期　第 2 四半期累計期間（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）（平成 23 年 5 月 13 日）	83,900	2,300	2,900	1,000	15 円 73 銭
今回修正予想（B）	83,875	3,095	1,888	445	7 円 1 銭
増減額（B－A）	△24	795	△1,011	△554	―
増減率（%）	△0.0	34.6	△34.9	△55.4	―
（ご参考）前期第 2 四半期実績（平成 23 年 3 月期第 2 四半期）	84,850	2,404	△707	△1,650	△25 円 96 銭

平成 24 年 3 月期　通期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想（A）（平成 23 年 5 月 13 日）	194,900	14,500	15,600	7,100	111 円 67 銭
今回修正予想（B）	195,200	14,700	13,600	5,800	91 円 22 銭
増減額（B－A）	300	200	△2,000	△1,300	―
増減率（%）	0.2	1.4	△12.8	△18.3	―
（ご参考）前期実績（平成 23 年 3 月期）	193,246	13,359	10,515	2,805	44 円 13 銭

３．修正の理由

（１）当第２四半期累計期間の業績は、個別、連結とも営業利益は前回予想を上回る見込みとなった一方、平成 23 年 9 月末の為替レートが平成 23 年 3 月末に比べ大幅な円高となったことなどにより、個別の営業外費用に「包括的長期為替予約契約（クーポンスワップ契約）」等に係るデリバティブ評価損 40 百万円（前回予想はデリバティブ評価益 14 億円）、為替差損 17 億 80 百万円（前回予想は為替差損 12 億円）を計上する見込みであることなどから、個別、連結とも経常利益、四半期純利益が前回予想を下回る見込みであります。

（２）通期業績につきましては、個別の営業外損益において平成 24 年 3 月末の為替相場、日米金利差が平成 23 年 9 月末と不変であるとの前提のもとに、営業外収益としてデリバティブ評価益 16 億 30 百万円（前回予想はデリバティブ評価益 27 億 50 百万円）、為替差損 34 億円（前回予想は為替差損 24 億円）を見込んでいることなどから、個別、連結とも経常利益、当期純利益が前回予想を下回る見込みであります。

≪個別業績予想≫

＜第 2 四半期累計期間＞

（１）売上高

スーツ事業におきまして、全国的なクールビズ商品の需要の高まりから、シャツやスラックスなどは好調に推移した一方、主力であるスーツの売上は低調に推移しました。

その結果、スーツ事業の既存店売上高は前年同期比 97.5%と、前回予想（既存店売上高前年同期比 98.0%）を下回ったことなどから、売上高は前回予想を下回る見込みであります。

（２）営業利益

売上総利益率は、前回予想を若干下回ったものの、効率的な経費の使用により、販売費及び一般管理費が前回予想を下回ったことから、営業利益は 24 億 78 百万円と前回予想を上回る見込みであります。

（３）経常利益、四半期純利益

営業外費用として「包括的長期為替予約契約（クーポンスワップ契約）」等に係るデリバティブ評価損 40 百万円（前回予想はデリバティブ評価益 14 億円）、為替差損 17 億 80 百万円（前回予想は為替差損 12 億円）を計上する見込みであることなどから、経常利益 16 億 47 百万円、四半期純利益 4 億 56 百万円と前回予想を下回る見込みであります。

＜通期＞

スーツ事業につきましては、下期も引き続き一都三県を中心とした出店、移転を行うとともに、「洋服の青山」を中心に積極的な販促施策を実施することなどにより、下期のスーツ事業の既存店売上高は前年同期比 102.0％と前回予想通りとなる見込みであります。一方、経費につきましては、広告宣伝費を中心に前回予想を上回る見込みなどから、通期の営業利益は 136 億円（前回予想は 134 億円）となる見込みであります。

また、営業外損益では、前記のとおり平成 24 年 3 月末の為替相場、日米金利差が平成 23 年 9 月末と不変であるとの前提のもとに、営業外収益としてデリバティブ評価益 16 億 30 百万円（前回予想はデリバティブ評価益 27 億 50 百万円）、為替差損 34 億円（前回予想は為替差損 24 億円）を見込んでいることなどから、経常利益及び当期純利益は前回予想を下回る見込みであります。

≪連結業績予想≫

＜第 2 四半期累計期間＞

（１）売上高

個別が前回予想を下回る見込みであることなどから、連結におきましても前回予想を下回る見込みであります。

（２）営業利益

個別が前回予想を上回る見込みであることなどから、連結におきましても前回予想を上回る見込みであります。

（３）経常利益、四半期純利益

個別が前回予想を下回る見込みであることなどから、連結におきましても前回予想を下回る見込みであります。

＜通期＞

その他の事業につきましては、事業ごとに業績のバラつきはあるものの、営業利益については前回予想通りの見込みであります。

その結果、通期の連結業績は、売上高 1,952 億円、営業利益 147 億円、経常利益 136 億円、当期純利益 58 億円と予想しております。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上